

ヨコハマ市民まち普請事業 令和5年度整備施設  
地域の居場所・情報拠点となる  
「町カフェ城郷ノスタルジア」が完成



港北区鳥山町(JR 横浜線小机駅から徒歩5分)に、空き店舗を活用し、地域の中で人々が気軽に集まれる場所、地域の情報が集まる場所として「町カフェ城郷ノスタルジア」が整備され、令和6年1月にオープンしました。



外からでもカフェが見えるカウンターや  
インフォメーションスペース



カフェでは近隣の焙煎店の協力で作った  
オリジナルブレンドのコーヒーを提供します

①地域インフォメーションスペース(1階入口)

入口には地域のイベント情報などを掲示できるスペースをつくり、周辺の地域情報が集まる場所を目指します。

②カフェ(1階)

コーヒーの淹れ方講座に参加したボランティアメンバーがコーヒーを提供します。

施設の  
概要

③交流スペース(2階)

サロンやイベントを開催するほか、レンタルルームにも活用できる畳敷き(約3畳)の空間です。

④相談室(2階)

個別の相談にも対応できるよう、プライバシーが保てる相談室も整備しました。社会福祉士等のメンバーがお話を聞くこともできます。

町カフェ城郷ノスタルジア

カフェの営業時間: 金・土・日 13~17時  
(今後営業日・時間ともに徐々に増える予定)  
その他、サロン・イベント等開催予定

詳しい情報は、instagramにて発信予定→  
(@yokohama\_hamanakama)



住所: 港北区鳥山町 1013

\* 提案を行った「町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト」は、地域サロンを主催する団体である「一般社団法人居場所づくり濱なかま」を中心とした鳥山町周辺の有志によるグループです。

## 「町を故郷に」感じてもらうための工夫

この町カフェが、町に愛着を持ち町にかかわるきっかけになってほしいという思いから、地域情報の拠点となるインフォメーションスペースを設けるほか、歴史ある町のことを知ってもらうきっかけとして地域の史跡などを示した絵地図を壁に描くといった工夫をしました。



入口とインフォメーションスペース



壁面には城郷地区の絵地図をペインティング  
まち普請整備を通じてつながりのできたアーティストが作成

## 整備には地域やまち普請の先輩に力を借りて

整備にあたっては、プレストミーティングやイベントを開催し町カフェの整備を知ってもらい、地域の方からの意見を取り入れるための工夫をしてきました。また、まち普請事業での提案・整備の経験を持つ建築士に設計を依頼し、整備前の建物部材の再活用や地域の方にも参加していただく DIY の実施など、これまでの知見も活かして整備を行いました。



↑ 2 階の交流スペースは小さな子どもと一緒にゆっくり過ごせるよう畳敷きに  
壁の左官作業 DIY の様子→



カフェのコーヒーテーブルも整備前の階段板を活用して DIY で作成

## 町カフェ城郷ノスタルジアが目指す地域での役割

今回整備した町カフェ自体は小さな空間ですが、この場所が「地域連携のハブ(中心)」となり地域の居場所同士の連携が生まれ、広がること、さらに今後鳥山町内や周辺地域に第二、第三の「地域連携ハブ」が生まれるきっかけになることを目指しています。



町カフェを活用したサロンでの交流の様子

まちへの思い、カタチにしませんか？ まちづくりの相談受付中!!



ヨコハマ市民  
まち普請事業  
HP

まち普請

検索

ヨコハマ市民まち普請事業は、市民の皆さんが主体となって行う、まちの魅力アップや地域の課題解決のための施設整備を伴うまちづくりに対し、支援や助成を行う横浜市独自の事業です。市民の皆さんの自由なアイデアで、今までに60を超える多くの施設が整備されてきました。2段階の公開コンテストを経て選考された提案に、最大 500 万円の整備助成金を交付し、地域のまちづくりを支援しています。

地域まちづくり課では、まち普請事業にチャレンジしたい方のご相談を随時受け付けています。

お問い合わせ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 村瀬 亮二 Tel 045-671-2665